

## 【平成24年度 北海道旭川東高等学校 学校評議員会の報告】

### ○第2回学校評議員会

期 日：平成24年11月28日（水） 18:15～20:00

会 場：北海道旭川東高等学校校長室

出席者：学校評議員3名、校長、全・定教頭、事務長 7名



今回は、定時制給食室の生徒が食べる夜食給食の試食会を実施しました

定時制では、健康管理の面から、原則として生徒全員が夜食給食を摂るようにしています。この日のメニューは「カレーうどん、鶏ささみと三つ葉の中華あえ、みかん、牛乳」でした。

栄養バランスもとれ、大変美味しくいただきました。



思いやりが一杯詰まった給食が、定時制の生徒たちにとって学校生活の楽しみの一つになっていることをあらためて感じました。

### 〈校長からの説明：「3つの課題」について〉

- (1) 大規模改修工事について・・・外壁・屋上の工事をほぼ終了。来年度は校舎内の工事になることから、教育活動に影響が出ないよう対策を講じることについて言及。
- (2) 周年事業について・・・事業内容と予算、来年10月実施予定の式典・祝賀会の概要に関する説明。
- (3) 旭東奨学会について・・・一般財団法人への移行等と、それに伴う新しい組織体制に関する説明。

地域の動きを詳細に記載した「校長インフォメーション」を教職員に配布し、状況提供を行うことで、学校と地域の連携強化を図っている。



全・定の教頭から、教育活動概要と学校評価についてご説明いたしました。

### 〈学校の教育活動全般に関する意見交換〉

・今年度の教育活動の特色として、全日制では、地震を想定した「防災訓練・防災講話」、韓国やフィリピンの青少年との「国際交流」、辻井伸行さんの恩師であるピアニスト川上氏による「文化講演会」など、本校OBを講師に招いた教育活動も積極的に取り入れてみた。生徒と身近に関わる人物や内容を教育活動に盛り込むことで、生徒が自己の未来を描く上で良い指針となると思われる。

・Webページの充実は、保護者や地域住民等へ広く本校の様子を知らせることを目的に行っており、今後も引き続き地域の理解と支援をお願いしたい。

(学校評議員から意見・要望等)



・現在1年生で実施している「職業セミナー」で、例えば本校OBの会社経営者を招いてパネルディスカッション等を行うのも、生徒の考えをより広げていく上で効果的ではないか。先生方とはまた異なる職業観の育成ができると思う。

・小論文対策プリントや新聞記事のコラムは、生徒の視野を広げる上で良い取組である。できれば、さらにこの取組を発展させ、社会問題に関するディベートや生徒の書いた小論文添削の一例をフィードバックして参考にさせるといった取組も効果的ではないか。

実際に生徒に考えさせ発言させることは自己の成長にもつながり、コミュニケーション能力の育成にも役立つと思われる。

また、小論文の添削作業は負担も大きいので、OBの力を活用することなども考えてみてはどうか。(専門家の意見としてのコメントも期待できる)。

・学校では様々な講演会を実施しているが、企業間でもいろいろなものづくりを行ってきた専門家を招聘した講演を行っている。そこには実践的な話題も多く、生徒にこうした機会も活用させると、また違う価値観が芽生えるのではないかと思う。

・定時制に関しては、難しい環境にも「負けるもんか」の気持ちで頑張ってもらいたいと思う。社会人になると、生きていく上でのお金は大切だが、自分の仕事が「他者の役に立っている」「仕事を通じて社会に貢献している」という実感が必要になってくると思う。

不登校など学校生活を送る上で困難さをもった生徒もいると思うが、「打たれ弱さ」を何とか克服してもらいたい。

・すぐに逃げてしまう子どもに限って、できない理由を並べてチャレンジしようとしないう。勇気をもって一歩踏み出すことの大切さを教え育みたい。

学校評議員の皆様には、今後に向けた新たな課題を提示していただくとともに、現在の取組をさらに充実させていくためのヒントや方策等についてお話しいただきました。

早速、年度末に向け、出来ることから学校運営に反映させていきたいと思っております。貴重なご意見に厚く感謝申し上げます。